

# 世界史

1 次の歴史に関する文章を読み、下記の問いに答えなさい。

オリンピックの開催地を振り返ると、東京、パリ、ロサンゼルスと、同都市で<sup>(a)</sup>複数回目の開催となる大会が続いている。オリンピックの開催都市決定には大きな注目が集まるが、先述のような大都市はどのように発展してきたのだろうか、「都市」の歴史について辿ってみることにしよう。

諸地域の古代文明では、国家が形成される前段階として都市が成立した。なかでもギリシアの諸地域に多数成立した<sup>(b)</sup> (1) と呼ばれる都市国家は有名である。都市は互いに抗争を繰り返し、優劣を決していったが、エジプトのように (2) と呼ばれる王による統一国家を早くから形成した地域もあれば、中国のように緩やかな連合体へ発展した地域や、ギリシアのように<sup>(c)</sup>統一的な政体を形成しなかった地域もある。

マケドニアの (A) による大帝国やローマ帝国のように、広範に渡る領域<sup>(d)</sup>国家が形成されると、都市は独立した政治体制というよりも、地方行政や文化の中心として機能するようになる。たとえば (A) の大帝国には各地に同名の都市が多く建設されたが、これらはギリシア風文化を各地に伝播させる中心的役割を果たし、同時代の文化は (3) 文化と称されるようになった。ローマにおいても、 (4) との間に生じたポエニ戦争以降獲得した属州に多くのローマ風都市が建設され、それらの都市を通じた属州支配が行われた。一方、3世紀に (5) 帝によって全自由民に与えられることとなる「ローマ市民権」という表現に現れるように、ローマが都市国家から出発したという自負は、支配階層の間に長く共有されていたようである。

イスラームが生まれた中東地域では、都市は商業の中心となる例が多く見られた。ムハンマドの生誕地である (6) はその代表例であり、さらに (B) 朝<sup>(f)</sup>の時代に建設されたバグダードも交易の中心として繁栄した。一方で、これらのイスラーム勢力に対抗するために十字軍運動が展開された11～12世紀には、<sup>(g)</sup><sup>(h)</sup>

ヨーロッパにも都市と商業が急速に発展した。ヨーロッパの中世都市には、港市として東方貿易で発展したイタリアの (7) のように、封建領主たちと並立する勢力をみずから築いたものもあれば、 (8) <sup>(i)</sup> 同盟の盟主として繁栄したリューベックのように、諸侯の力を抑えようとする神聖ローマ皇帝からの特許状 <sup>(j)</sup> によって、諸侯と同等の地位を持つ帝国都市として自治を獲得するものもあった。

このように見ていくと、歴史上の「都市」は政治・経済・文化といったあらゆる側面における中心地であり、情報の発信源であるといえる。オリンピックの開催地に選ばれる都市は、平和というメッセージを世界に発信する中心たることが求められているのかもしれない。 <sup>(k)</sup>

問1. 文中の (1) ～ (8) に適する語句を〔語群〕から選び、その記号を答えなさい。

〔語 群〕

- |            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| ア. アゴラ     | イ. ポリス    | ウ. ファラオ     |
| エ. ラー      | オ. バルバロイ  | カ. ヘレニズム    |
| キ. カルタゴ    | ク. ヒクソス   | ケ. オクタウィアヌス |
| コ. カラカラ    | サ. メッカ    | シ. メディナ     |
| ス. フィレンツェ  | セ. ヴェネツィア | ソ. ハンザ      |
| タ. ロンバルディア |           |             |

問2. 文中の (A) と (B) に入る語句の組み合わせとして、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- |                |          |
|----------------|----------|
| ア. (A)アレクサンドロス | (B)ウマイヤ  |
| イ. (A)アレクサンドロス | (B)アッバース |
| ウ. (A)フィリッポス2世 | (B)ウマイヤ  |
| エ. (A)フィリッポス2世 | (B)アッバース |



問7. 下線部(e)について、ローマの属州支配について説明した次の文 a と b の正誤の組み合わせとして、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- a. 第1回ポエニ戦争で獲得したシチリアが、初の属州とされている。
- b. ローマの共和政期には、属州で獲得した奴隷を労働力として、コロナトゥスと呼ばれる農業経営が行われた。

- ア. a－正      b－正                      イ. a－正      b－誤
- ウ. a－誤      b－正                      エ. a－誤      b－誤

問8. 下線部(f)について、彼の死後にイスラーム教徒の共同体を率いた、「後継者」を意味する地位は何か。次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. カリフ                                      イ. ジハード
- ウ. ヒジュラ                                  エ. ラマダーン

問9. 下線部(g)について、十字軍運動に関する説明文として、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. セルジューク朝の進出に対し、ビザンツ皇帝が教皇に救援を要請したことが、十字軍運動のきっかけとなった。
- イ. 最初の十字軍は、1095年にインノケンティウス3世が召集したコンスタンツ公会議にて提唱された。
- ウ. アイユブ朝のサラーフ＝アッディーンは、十字軍から聖地イェルサレムを奪回した。
- エ. 第4回十字軍は、ヴェネツィア商人の要求によりコンスタンティノープルを占領した。

問 10. 下線部(h)について、12世紀の出来事として、次のうちから正しくないものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. 王安石による財政再建・富国強兵策が実施された。
- イ. 南宋が、臨安(杭州)を都に定めた。
- ウ. 女真が建国した金が南下し、靖康の変が起こった。
- エ. 日本において、武人がその地位を高めて鎌倉幕府を建てた。

問 11. 下線部(i)について、中世ヨーロッパの封建領主に与えられていた権限について説明した次の文 a と b の正誤の組み合わせとして、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- a. 領内の商工業者に対して、十分の一税を課した。
  - b. 国王の役人が領内に立ち入ることを拒む、不輸不入権を持っていた。
- ア. a－正      b－正                      イ. a－正      b－誤  
ウ. a－誤      b－正                      エ. a－誤      b－誤

問 12. 下線部(j)について、この初代とされる 10 世紀の人物は誰か。次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. イヴァン 3 世                              イ. オットー 1 世
- ウ. キュロス 2 世                              エ. シャープール 1 世

問 13. 下線部(k)に関連して、ローマ帝国ではその初期に「ローマの平和」と呼ばれる繁栄期を迎え、特に五賢帝のうちの 1 人の時代に領土が最大となった。この皇帝として、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. コンスタンティヌス帝                      イ. デイオクレティアヌス帝
- ウ. テオドシウス帝                              エ. トラヤヌス帝

2

17世紀末から18世紀初頭にかけて、イギリスとフランスはヨーロッパ本土のみならず、アメリカ大陸やインドなどの植民地でも激しい対立を繰り広げた。この長期にわたる戦争は、14世紀から15世紀にかけて行われた百年戦争になぞらえて「第2次英仏百年戦争」と呼ばれる。次の文章A～Cを読み、下記の問いに答えなさい。

A 17世紀後半、イギリスは議会制度の発展と海外進出を同時に進めていた。1688年  後のイギリスは、議会の力を強めた。同時に、海外進出を積極的に行い、植民地を広げていった。この過程で、フランスとの対立が深まり、植民地と世界の貿易をめぐる長い戦争へと発展していった。

問1. 文中の  に入る適切な語句として、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- |             |         |
|-------------|---------|
| ア. ピューリタン革命 | イ. 名誉革命 |
| ウ. 七月革命     | エ. 二月革命 |

問2. 次の1～4の出来事を古い順に並べ替えたものとして、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 航海法の制定        | 2. ピューリタン革命 |
| 3. グレートブリテン王国の成立 | 4. 権利章典の制定  |

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ア. 2 → 1 → 4 → 3 | イ. 1 → 2 → 3 → 4 |
| ウ. 2 → 1 → 3 → 4 | エ. 1 → 2 → 4 → 3 |

問3. イギリスの海外進出について、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. 東インド会社を通じてインドへ進出した。
- イ. 南米のブラジルを最大の植民地とした。
- ウ. アフリカでの奴隷貿易には関与しなかった。
- エ. 北米西海岸に13の植民地を建設した。

問4. イギリスの植民地政策について、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. 自由貿易政策を採用し、植民地との貿易を完全に開放した。
- イ. 重商主義政策の一環として航海法を制定し、植民地との貿易を規制した。
- ウ. 植民地の自治権を拡大し、本国からの独立を積極的に支援した。
- エ. 植民地からの輸入品に対する関税をすべて撤廃し、経済統合を進めた。

問5. イギリス史上の人物とその人物の業績の組み合わせとして、次のうちから正しくないものを1つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. エリザベス1世 — 東インド会社の設立
- イ. クロムウェル — 共和政の樹立
- ウ. ウィリアム3世 — 権利章典の承認
- エ. ジョージ1世 — スチュアート朝の開始

B 第2次英仏百年戦争は、17世紀末から18世紀にかけて約100年間にわたり、イギリスとフランスが植民地と世界商業の覇権をめぐって繰り広げた一連の抗争を指す。1688年の(1) 継承戦争を皮切りに、スペイン継承戦争、オーストリア継承戦争、七年戦争と続いた。スペイン継承戦争では、フランスとスペインが連合軍を組み、これに反対するイギリス・オランダは同盟を結成した。戦争の結果、(2) とミノルカ島がスペイン領からイギリス領になり、(3) 地方、ニューファンドランド、アカディアがフランス領からイギリス領になった。北米ではイギリスとフランスが激しい戦闘を繰

り広げた。スペイン継承戦争は主に 1713 年の (4) 条約で決着がついた。さらに、七年戦争の結果、1763 年の (5) 条約により、フランスは北米の植民地を失った。

問 6. 文中の (1) ~ (5) に適する語句を〔語群〕から選び、その記号を答えなさい。

〔語 群〕

- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ア. マルタ   | イ. ヴェルサイユ | ウ. ジブラルタル |
| エ. ポルトガル | オ. オラニエン  | カ. コルシカ   |
| キ. パリ    | ク. プロイセン  | ケ. ナント    |
| コ. ケベック  | サ. ハドソン湾  | シ. ユトレヒト  |
| ス. プファルツ | セ. ルイジアナ  |           |

C 第 2 次英仏百年戦争は、イギリスとフランスによる植民地争奪戦として世界史に大きな影響を与えた。この戦いは、ヨーロッパでの対立が北米やインドへと拡大し、最終的にイギリスが優位に立った。その結果、イギリスによる広範な植民地支配が進み、世界の勢力図が大きく変化した。また、この戦争の影響は経済面にも及び、世界貿易の構造や各国の財政状況にも変化をもたらした。こうして、18 世紀後半から 19 世紀初頭にかけて、世界情勢は大きく変動することとなった。

問 7. 第 2 次英仏百年戦争後のイギリスに関して、次のうちから 正しくないもの を 1 つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. 北米とインドを中心に広大な植民地を獲得し、世界貿易の中心となった。
- イ. 植民地帝国を形成し、その後の産業革命の基盤を確立した。
- ウ. 植民地からの税収により国家財政が大幅に改善され、負債が解消された。
- エ. 産業革命の進展が促進され、世界最初の工業国家への道を歩み始めた。

問8. アメリカ13植民地とイギリスの関係に関する記述として、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

ア. 13植民地はすべてフランスによって建設され、後にイギリスの支配下に入った。

イ. イギリスは13植民地に対して重商主義政策を適用し、様々な規制を課した。

ウ. 13植民地の住民はすべてイギリス本国から移住した人々で構成されていた。

エ. イギリスは13植民地の自治を全面的に認め、課税や貿易の規制を行わなかった。

問9. 第2次英仏百年戦争がフランスに与えた影響について、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

ア. 戦費負担により国家財政が悪化し、後の革命の遠因となった。

イ. 北米における植民地の大部分を失い、植民地帝国が縮小した。

ウ. インドにおける優位性を失い、東インド会社の影響力が低下した。

エ. 絶対王政が強化され、国王の権力がさらに拡大した。

問10. 第2次英仏百年戦争後の植民地貿易の変化について、次のうちから正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。

ア. イギリスが世界貿易の中心となり、ポンド・スターリングの影響力が拡大した。

イ. 植民地からの原材料供給が増加し、ヨーロッパの工業化を促進した。

ウ. フランスの海外貿易が完全に停止し、経済的影響力が消滅した。

エ. イギリスの製造業が発展し、世界の工場としての地位を確立した。

問 11. 第 2 次英仏百年戦争の結果が 18 世紀後半の世界に与えた影響について、  
次のうちから正しくないものを 1 つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. アメリカ独立革命の遠因となり、新たな共和国の誕生につながった。
- イ. フランス革命の一因となり、ヨーロッパの政治体制に変革をもたらした。
- ウ. イギリスでの産業革命を促進し、世界経済の構造を大きく変えた。
- エ. ヨーロッパ諸国間の勢力均衡が一時的に実現し、相対的な平和期が訪れた。

3

パレスチナ問題の変遷について、次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

勢力圏の拡大を競い合った列強は、史上初の総力戦である第一次世界大戦を引き起こし、新兵器を投入した熾烈な戦闘を繰り広げた。列強はまた、秘密条約に基づき戦時外交を展開し、<sup>(a)</sup>現地住民の意思を無視した領土の分割を取り決め、自治や独立に関して相反する約束をするなどして自らの優位を獲得しようとした。パレスチナは、このような列強間の争いに巻き込まれた地域である。

(A) は、1915年、(B) 帝国内のアラブ人居住地域であるパレスチナ<sup>(b)</sup>の扱いを曖昧にしたまま、アラブ人に同帝国からの独立を約束しながら、1917<sup>(c)</sup>年には、ユダヤ人に対して、パレスチナでの「民族的郷土」の建設への支持を表明した。 (A) は、アラブ人とユダヤ人の双方に対して戦争協力を条件に国家建設を約束し、今日に至るパレスチナ問題の原因を作ったのである。

ヨーロッパ各地での迫害から逃れたユダヤ人がパレスチナへの移住を始めたのは19世紀の後半であったが、この地での国家建設を (A) が支持すると、この動きは一気に加速した。その結果、パレスチナにおいては、当然のことながらアラブ人とユダヤ人の対立が深まった。

第二次世界大戦で疲弊した (A) がパレスチナでの委任統治権を放棄すると、パレスチナ問題の解決は、新しく発足した (C) の手に委ねられることとなった。 1947年、<sup>(d)</sup>(C) は、パレスチナをユダヤ人国家とパレスチナ(アラブ)人国家に分割する決議をおこなった。この分割案に基づいて、1948年にイスラエルが建国を宣言すると、建国を認めないアラブ諸国との間に戦争が勃発した(第1次 (D) 戦争)。(A) やアメリカの支援を受けて戦いアラブ側に勝利したイスラエルが、分割案より広い領土を支配した一方で、多くのパレスチナ人が難民となった。

1960～70年代、パレスチナの解放を「アラブの大義」とするアラブ諸国とイスラエルの間に緊張が高まり、1967年、第3次 (D) 戦争が勃発した。圧勝したイスラエルは占領地を拡大させたが、アラブ諸国をけん引してきた (E) は敗れてその権威は失墜し、アラブ民族主義も衰退していった。この戦争で失った領土の奪回を目指して、1973年、(E) とシリアはイスラエルを攻撃した

が、失地回復には至らなかった(第4次  戦争)。その後、 はイスラエルとの和平に転じ、1979年条約を結び、アラブ諸国で初めてイスラエルを承認した。アラブ世界が分断される結果を招いたのは言うまでもない。

1980年代になると、デモや投石でイスラエルに抵抗するパレスチナ人の民衆蜂起が頻発した。パレスチナ人の抵抗運動は、1993年、イスラエルとパレスチナ解放機構が相互承認を表明し、<sup>(e)</sup>パレスチナ暫定自治協定に調印すると一時的に鎮静化したが、<sup>(f)</sup>パレスチナにイスラーム急進派組織  が台頭すると再び激化した。

ユダヤ人とアラブ(パレスチナ)人の民族的及び宗教的な対立、パレスチナならびにアラブ世界のそれぞれにおける内部分裂、関係国の思惑などを背景に、パレスチナ問題は、より複雑な性格を帯び、深刻な紛争を誘発して現在に至っている。

問1. 文中の  ～  に適する語句を〔語群〕から選び、その記号を答えなさい。

〔語 群〕

- |          |           |            |
|----------|-----------|------------|
| ア. スペイン  | イ. ポルトガル  | ウ. イギリス    |
| エ. インド   | オ. エジプト   | カ. サウジアラビア |
| キ. ハンガリー | ク. オーストリア | ケ. ビザンツ    |
| コ. オスマン  | サ. 国際連合   | シ. 国際連盟    |
| ス. 国際赤十字 | セ. 中東     | ソ. 中近東     |
| タ. 近東    | チ. 極東     | ツ. アル＝カーイダ |
| テ. ハマース  | ト. ターリバーン |            |

問2. 下線部(a)に該当する兵器は何か。次のうちから正しいものを2つ選び、その記号を答えなさい。

- ア. 原子爆弾      イ. 毒ガス      ウ. 機関銃      エ. 焼夷弾

